石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
印刷山口北州印刷㈱

9月7日

岩手中・高等学校
創立70年記念式典を挙行

何冀精神で頑張らねば

石桜同窓会長　赤坂俊夫

「俺は岩高の卒業だ」と何処に行っても、誰と会っても胸を張るためには、今遭遇している大きな宿題を成し遂げねばならない。

輝かしい伝統を生かし、大きな希望を実現するためには、私学による人材育成をめざした三田義正翁の念願に応えるためにも、優秀大学への進学率の向上を図らねばならない。

それは、津田塾的な寺子屋式の特訓だと思う。

更に、岩高のイメージを植え付けるためには、クラブ活動の強化であり、その手段は良き指導者の探索以外にない。

「優勝旗は良き監督のもとに集まる」の哲学が示す通りである。良き選手を如何に吸い寄せるか

学率の向上と、クラブの指導者の探索には、大きな基金が必要であることは言うまでもない。

いま、七十周年を起点として石桜同窓生が燃え上がり、何冀精神で頑張り通せば、この夢と同時に、それをひきよせる指導者の影響が特に大きい。

寺子屋式特訓による進の現実も決して不可能ではない。一層のご協力を、心からお願いする。

赤坂同窓会長が祝辞
「母校に生きた灯を」と

平成八年九月七日、岩手中・高等学校体育館において創立七〇年記念式典が挙行された。

開式の言葉、君が代斉唱に続き、三田義之岩手奨学会理事長が「軽佻浮薄を憂い、石割桜の如き強い精神力と体力を有する社会に役立つ誠実な人材の育成が大事である、との創立者三田義正翁の建学の精神で一生懸命励んで、新しい歴史を作ってほしい。」と式辞を述べられると、池口杜孝岩手中・高等学校長は「学校の校訓や石桜精神の重い歴史に恥じぬよう学業にスポーツに成果を挙げ、名を高からしめるよう努力する決意である。」と述べられた。

祝辞の赤坂俊夫会長

続いて吉田一芳PTA会長、赤坂俊夫同窓会会長が祝辞を述べられた。赤坂会長は「母校に生きた灯をともせ。生徒諸君は勉学にクラブに全力を尽くせ。」と激励の言葉で熱弁をふるった。

式辞を述べる三田義之理事長

旧職員に感謝状
永年勤続職員に表彰状の贈呈

続いて旧職員に対する感謝状の贈呈、二五年の永年勤続職員に対する表彰状の贈呈と続き、池端葵生徒会会長が、「長い歴史の岩手山登山、テニス部、ソフトテニス部、物理部の活躍、サテライト授業などでの学力向上で本校七〇年の伝統を受け継ぎ、発展させていきたい。」との決意を誓い、最後に全員により校歌が斉唱された。

当日はあいにくの雨模様であったが、理事長先生をはじめ、来賓、表彰者、教職員、生徒の参列のもと、厳粛な雰囲気で約一時間の記念式典を終了した。

感謝状・表彰状受賞者は次の通り。

感謝状受賞者
山中順三先生
池口杜孝先生
西在家寛先生
遠藤貫中先生

表彰状受賞者
山岸道利先生
中館脩悦先生
高橋三郎先生
佐羽内慶祐先生
村上照五郎先生
中村嘉明先生
高橋精四郎先生
足澤至先生
吉田長作先生
菊池軍次先生
菊地治雄先生
東館専治先生
本館公治先生
井藤博先生
青木文一先生
高橋一義先生
久保英三郎先生
小畑勝行先生
遠藤清安先生

創立70周年記念祝賀会は10月19日(土)
同窓各位の多くのご来会を

石桜同窓会
主催

石桜同窓会主催の記念祝賀会は、本年度同窓会の総会と、左のように同日開催することになりました。できるだけ沢山のOB諸兄と、祝賀を共にしたく、ご来会をお待ちしています。

☆ご出席の場合、同封のハガキでお知らせ下さい。

とき　10月19日(土)
ところ　盛岡駅前・ホテルメトロポリタン盛岡新館ニューウィング

〔同窓会総会〕
午後　3:00～4:00
会場　4F桐の間

〔記念講演〕
午後　4:10～5:30
会場　上に同じ
講師　同窓会長赤坂俊夫
演題　「性行為感染症(性病)の最近の傾向」

〔功績顕彰・祝賀会〕
午後　6:00～8:00
会場　11Fギャラクシー
(祝賀会会費　6,000円)

平成9年度 生徒募集要項

	高等学校			中学校
	特別進学コース	クラブ推薦	一般	―
募集定員	30名	若干名	250名(左記含む)	20名
出願期間	1月8日(水)～10日(金)		1月20日(月)～1月24日(金)	3月3日(月)～3月7日(金)
試験期日	1月13日(月)		2月1日(土)	3月8日(土)
試験科目	国語、数学、英語	面接	国社数理英(5科目)	国語・算数
選抜方法	調査書・学力試験との総合判定	調査書・推薦書・面接の総合判定	調査書、学力試験及び面接(専願者のみ)の総合判定	筆記試験、調査書、面接の総合判定
合格発表	1月18日(土)		2月7日(金)	3月12日(水)
入学手続き締切日	1月28日(火)		2月17日(月)	3月19日(水)

◇ 同窓生の子弟の応募を歓迎します。高校専願制度もありますので、ご利用ください。
◇ 中学生の増加を図り、中高一貫教育を目指しています。ご勧誘をお願いいたします。
◇ 入学案内・願書は9月下旬にでき上がります。
◇ 中学校は授業料を徴収しません。
◇ 寄宿舎の施設があります。

事務局　〒020　盛岡市長田町7番60号
Tel 0196-24-4445㈹　Fax 0196-51-3454

天候が心配されたが今年も無事、高校二年生の岩手山登山が行われた。

本校の校旗は昭和二年九月二日に制定され、今なお入学式、卒業式等の儀式の際に壇上に掲げられている。さすがに古色蒼然とはしているが、それがまた我が校の歴史の古さを醸し出している。

校旗制定から三日後の昭和二年九月五日、岩手山山頂で校旗樹立式が挙行され、さらにそれから二年後の昭和四年九月十一日には校旗樹立記念碑が岩手山山頂奥宮前に建立された。

本校伝統の学校行事、岩手山集団登山はそれ以来脈々と続けられてきた。

登山口から一合目までの長い林道。岩手山登山は最初から過酷である。しかし、五合目、六合目あたりから雲下の町並みを見下ろせばそれが何物にも代え難い一服の清涼剤となり、前途への勇気が湧く。八合目山小屋に着くとそれまでの苦しさが一気に報われる。

山頂。お鉢を巡って、石碑の前に立つと一種敬虔な気持ちになる。この石碑に宿った山霊、精気が我々に伝わってくるのだ。

「皇風永扇校運隆昌」霊峰岩手山の山霊の祐けを仰ぎ、我が校の校運が長く大きく発展し、石桜を巣立った多くの人材がこの国の発展に寄与せんことを、という願いを込めた石碑の文である。

そこには創立当時の石桜の先輩たちの大きな誇りと強烈なまでの自負と、そして目的意識が見てとれる。また見落としてはならない事は、そこに謙虚さがあるということだ。

人知を越えた存在を岩手山にシンボライズし、「人事を尽くして天命を待つ」姿勢がある。

本年は我が校創立七十周年。まず人事を尽くそう。

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷忠正
材木町信用金庫向　TEL(22)7457

メンズファッション&スクールウェア
㈱佐藤被服
本社　盛岡市肴町　TEL　㈹(24)3797
営業所　紫波郡矢巾町流通センター　TEL　㈹(37)2661

ご昼食・ご商談・ご宴会
料亭京極
盛岡市大通1丁目8－4
ニコットキョーゴク
☎盛岡25－9459㈹

創立七〇周年記念事業

全国同窓からの浄財集まる

さらに目標額達成に向けて

母校創立七〇周年記念事業として三千万円の目標額を掲げて全国各地の同窓会員に呼び掛けてここに三カ月余り、八五〇名にならんとする有志の方々からの心のこもる一千六百万の浄財が送られて参りました。本当にありがたいことであります。

しかし、目標にはもうひと踏ん張りという段階であります。同窓会役員・学年理事は昨秋の同窓会総会以来記念事業についていくたびもの協議を重ねては参りましたので、事業の目的や内容について熟知しておりますが、一般会員にとりましては、お手元に届けられた一片の記念事業趣意書は突然のことであり、いろいろと戸惑いもおありのことかと推察しております。

母校創立七〇年という節目に当たり、草創の頃に思いを致し、今日までの歴史をたどり同窓としての絆を一層強く固める意義は誠に大きいものであります。とくにこのたびの節目というものは、めでたしと祝うべきことであると同時に、母校の将来展望を確かなものにしたいという大きな期待がかかっているのであります。

いま、わが国は児童生徒減少時代というかつて経験しなかった時代に入っております。この中で教育界にあっては、やがて迎えるべき二十一世紀への態勢を整えるため学校の公立私立を問わず英智を集め懸命な努力を続けているのも事実であります。

約一万三千名の卒業生を巣立たせた母校であるからと言って、七〇年の歴史に坐しているわけにはいかない。いまのうちになんとかしなければと、なんとかしてほしいという言葉が心ある多くの同窓の間に交わされております。既に寄せられた浄財にはそのような母校に寄せる熱い思いが込められていると見ることが出来ないでしょうか。

ここに募金開始から現在まで、事務局への問い合わせとして、「募金の期限はいつか」、「振込用紙をなくした」「わが同期の応募状況は」等がありました。

趣旨は分かった、そのうちという間に、忘却することはよくあることであります。まだご協力頂けない方々には、どうかこのたびの記念事業の趣旨をご賢察下さいまして応分のご協力をおなられていると見ることが出来ないでしょうか。

ここに募金開始から現在まで、事務局への問い合わせとして、「募金の期限はいつか」、「振込用紙をなくした」「わが同期の応募状況は」等がありました。

趣旨は分かった、そのうちという間に、忘却することはよくあることであります。まだご協力頂けない方々には、どうかこのたびの記念事業の趣旨をご賢察下さいまして応分のご協力をお願い申し上げる次第であります。

趣意書では締め切りを八月末としてはおりましたが、なんとしても目標額達成までは、当分の間取り扱いますのでなるべく早めにご協力をお願い申し上げます。

◎記念事業の大要

《目標額三、〇〇〇万円》

(1) クラブ強化育成基金の設定

(2) 石桜七〇年誌の刊行

(3) 記念祝賀行事開催

◎予算の大要

(1) クラブ強化基金　二、三〇〇万円

(2) 石桜七〇年誌刊行費助成　四〇〇万円

(3) 記念祝賀行事費　三〇〇万円

◎寄付金は、一口、五、〇〇〇円以上

◆三口以上の方には記念誌を進呈。

寄付者のご芳名は石桜同窓会報に掲載します。

◇送金については、同封の振込用紙をご利用下さい。

送金先

盛岡市長田町七―六〇

岩手高校内

石桜同窓会事務局

（☎〇一九六―二四―四四四五）

●記念誌について

記念誌のみご希望の場合は一部送料とも六、〇〇〇円とします。

★募金状況中間報告

約一千六百万円

（8月31日現在）

七〇周年記念事業　寄付者

（8月31日現在）

旧1回生
太田代俊雄
松見得明
吉田耕造
古舘哲郎
斉藤久四郎
太田勇
鎌田省一
藤原誠一
佐藤忠夫
工藤長一
佐々木長一郎
菊池万雄
大沢善吉
藤原郁敏
佐藤全一
小野整治
橋本肇
山口源吉
武蔵米蔵
三浦正雄
高橋武男
中村忠雄
伊藤光次郎
金田栄一
沼川武雄
加藤三千雄
金澤修一
下斗米昌一
南澤君平
黄伝明
松尾景康
高山弘
佐々木秀夫
佐藤清
中島幹
岡田誠
高橋芳雄
米島悦
藤根矢平
斎藤徳三郎
杉本正善
佐々木一郎
道又泰三
一條龍彦

旧2回生
菅野農吉
村里茂孝
藤壽一
浅沼實
土井尻正次
中野喜一

旧3回生

旧4回生

旧5回生

旧6回生

旧7回生

旧8回生

旧9回生
佐々木徳一
鎌田次郎
大澤徳太郎
大八木勇
荒木忠三郎
川村武雄
赤坂俊夫
川村武雄
福士六郎
長谷川行
高橋秀夫
照井安彦
軽石正夫
堀切弘士
相原正毅
中村達雄
小笠原弘毅
萩原悦
丹野勝雄
栃内松四郎
佐藤正吉
堀合政美
若山忠一

旧10回生

旧11回生
遠藤秀雄
佐藤喜代治
村田・徹
久保沢稔
八重樫和夫
小松英俊
山口眞吉
小沢甚一郎
熊谷梅作
馬武夫
門
斉藤昌三
東根淳
小野寺悟
大崎正夫
松本滋夫
熊谷恭
小笠原順二
辻公一
東根清藏
吉田大三
熊千葉昌二
川村保重
大志田成武
千田亮二
澤長彰
谷口廣一郎
川村豊
加藤養助
鎌田禎
岩田栄

旧12回生

旧13回生
菊地英二
鱒沢昇
小原廣道
清水正三
川村弥七人
名久井健太朗
高橋清
大西博
吉島一夫
村田剛
武蔵巍
滝川忠夫
下村幸男
高橋修郎
村松功
金矢昇
吉田弘
北口吉蔵
清水孝志
藤原仁左衛門
小野寺稔
金吉
瀬川修一
澤田耕
佐藤浩
盛合毅六
坂下義尚
斉藤晋
瀬野尾功
小松代
小笠原國彦
小原順造
湯沢源一
中村一雄
小笠原哲男
金野政雄
浅沼昭典
足澤至
中島昭
大澤靖
岡澤敏男
藤沢芳雄
似内和夫
藤本徳文
足澤實
吉田一男
雪ノ浦弘
斎藤孝三
薩野信篤
赤坂等
佐々木秀勝
（後期）
水本祐一
田中淳
高橋幸三
斎藤康三
佐々木幸三
武吉次
鈴木廣治
鈴野雄壽
高橋啓介
円子幹夫
荒尾勝
佐々木博康
浅沼正夫
新井孝一
佐々木京一
藤田慶一
川村透
猪狩康三
武田太良
佐々木哲孝
小笠原芳雄
福士久也
後藤久芳
池田健三
下山和夫
小原男
藤原忠一
小銳地
坂下英夫
山田武利
村田剛
吉島一夫
大西博
高橋清
斎藤克哉
佐藤信
黒沼正三郎
佐々木敏
杉本辰郎
鷹觜達衛
菊池忠夫
木村祐造
佐久間和夫
田中利昌
菊地一郎
清本洋三
藤村啓勳
佐藤克
田村光三
多田一信
上田勝也
小原徳弥
坂下英夫
村松功
高橋修郎
藤舘秀行
吉川忠
金矢昇
圓子龍一
五日市義巳
猪狩康三
清水端金吉
渡邊二郎
藤田慶一
川村透
佐々木京一
有原隆司
武田太良
佐々木哲孝
小笠原芳雄
福士久也
後藤久芳
池田健三
下山和夫
小原男
藤原忠一
小銳地
坂下英夫
盛合毅六
小笠原脩三
小櫻信雄
立花肇
福士俊朗
吉田睦郎
渡邊二郎
新井孝一
佐々木博康
浅沼正夫
菊地一郎
清本洋三
斎藤克哉
田村光三
多田一信
上田勝也
小原徳弥
藤村啓勳
佐々木哲孝
田中利昌
佐久間和夫
木村祐造
鷹觜達衛
小原国紀

旧14回生

旧15回生

旧16回生
佐々木睦郎
太田代實
出淵肇
花舘英世
牟岐鹿樓
佐藤義信
武田耕太
北吉守夫
板橋大三
小山田行男
季村正三
高橋孝直
増田清
高橋精四郎
兼田弘一
伊藤寛康
田中淳
高橋幸三
斎藤孝三
佐々木幸三
武吉次
鈴木廣治
鈴野雄壽
高橋啓介
円子幹夫
荒尾勝
佐々木博康
浅沼正夫
新井孝一
佐々木京一
藤田慶一
川村透
猪狩康三
武田太良
佐々木哲孝
小笠原芳雄
福士久也
後藤久芳
池田健三
下山和夫
小原男
藤原忠一
小銳地
坂下英夫
山田武利
村田剛
吉島一夫
大西博
高橋清
斎藤克哉
佐藤信
黒沼正三郎
佐々木敏
杉本辰郎
鷹觜達衛
菊池忠夫
木村祐造
佐久間和夫
田中利昌
菊地一郎
清本洋三
藤村啓勳

高橋純一　工藤強一　大田原弘明　渕沢敬三　村川吉兵衛　船越雄彦　工藤宰民　大村弘　澤村泰美　千代川哲郎　佐々木利之　吉田充孝　三浦学　白井輝男　久保勝彦　菊地貞一　阿部信行　小松治雄　平井興太郎　上原敬　松岡直彦　中村光紀　小笠原郁夫　菊池敬志　小川宏司　杉村衛　名取雅和　宇夫方文三郎　黒沼紘康　阿部行虎　古館正

新10回生

廣瀬欽也　菅原勝義　田口信之　根川邦一　佐々木初男　今泉博雄　内館政光　山本幸一　加藤奉栄　西山保五郎　吉田勲　横沢大造　小原紀彰　吉田公一　小苅米淳一　佐々木利之　佐藤克洸　小笠原克夫　菊池軍次　阿部昭男　里見栄一　大坪範雄　荒谷昇　遠藤健悦　根本秀行　藤原孝四郎　駿河正雄　木村勝一　下田淳　斎藤帰一　石川隆三郎　福島裕也　斉藤敬治　中村清人　斎藤篤　佐藤昭宏　菊地輝之　高橋邦明　福士慎二　森田真司　晴山義昭　佐木甚一　佐藤正俊　横矢忍　斉藤卓郎　森駒忠邦　横田雄彦　武藤正吾　熊谷勉　桂啓文　中村洋彦　矢沢亮康　村井睦平　阿部健雄　高橋晟　高橋栄一　松舘剛　高橋正臣　鈴木孝爾　小笠原昌生　川本亜夫　畠明生　立花鐵夫　瀬川深志　小野和徳　間瀬半蔵　対馬正宜　晴山友規　小綿泰樹　小野義郎　西郷範文　佐藤孝　主濱隆男　藤枝順一　三上彰　矢羽々一雄　中軽米久平　菅茂雄　桜井一男　藤尾東泉　福田重雄　小笠原常之　浅久保徳光　山田康博　後藤尚夫　高橋隆夫　熊谷啓介　熊田博行　田辺和彦　工藤正身　吉田徹也　佐々木謙四郎　芋田一　中村一　滝浦弘士　吉田哲人　木村次郎　零石憲一　小松世英　菊池記　武藤顕一郎　佐々木幸男　秋浜一夫　佐々木幹郎　難波保夫　小田義道　藤岡知昭　浦田栄治　伊保内利雄　今泉利一　上島秀一

新11回生

新12回生

新13回生

新14回生

新15回生

新16回生

新17回生

新18回生

新19回生

新20回生

新21回生

新22回生

新23回生

古賀和俊　梅村和彦　浅香昭夫　黒沼隆雄　笹川義夫　道又元　桜井保典　前田康彦　川村康二　村田昌明　大久保卓也　高城研司　工藤聖輔　吉田康浩　熊谷浩孝　三浦浩人　竹田法泉　坂下新治　松森壮全　川村國雄　藤井優幸　小泉聡　三上欽市　柴田克則　高橋正行　丹野保史　館澤徳寿　坂原秀人　久保田享　中村治　石村剛　佐々木紀臣　鈴木耕和彦　太田聖一　細村英太　久保憲昭　菅原卓也　金澤陽一郎　和山直　及川晋嗣　藤原誠　吉田弘司　菊地伸雄　櫻田真成　苫米地一　猿舘英明　貫洞厚　岡田啓　及川博之　清水渉　武田栄治　今村洋　中村元研　澤田

新20回生

新21回生

新22回生

新23回生

新24回生

新25回生

新26回生

新27回生

新28回生

新29回生

新30回生

新31回生

新32回生

新33回生

新34回生

新35回生

新36回生

新37回生

新38回生

新39回生

新40回生

新41回生

新42回生

新43回生

新44回生

新45回生

新46回生

新47回生

小畑耕一郎　三田地成幸　馬場博明　佐々木哲也　村上修　田沼春仁　坂下龍一　八木橋輝夫　菅原護　桑原伸行　南黒沢智護　杉田晴山友修　武蔵　立花等　古関裕平　佐々木重夫　小野和徳　間瀬半蔵　対馬正宜　晴山友規　小綿泰樹　小野義郎　西郷範文　佐藤孝　主濱隆男　藤枝順一　三上彰　矢羽々一雄　中軽米久平　菅茂雄　桜井一男　藤尾東泉　福田重雄　小笠原常之　浅久保徳光　山田康博　後藤尚夫　高橋隆夫　熊谷啓介　熊田博行　田辺和彦　工藤正身　吉田徹也　佐々木謙四郎　芋田一　中村一　滝浦弘士　吉田哲人　木村次郎　零石憲一　小松世英　菊池記　武藤顕一郎　佐々木幸男　秋浜一夫　佐々木幹郎　難波保夫　小田義道　藤岡知昭　浦田栄治　伊保内利雄　今泉利一　上島秀一

一戸秀行　宮野修　矢嶋久　菊地徹　久保田仁　佐々木重利　赤澤敏樹　八重樹龍介　赤坂俊彦　和田健一郎　吉田文明　吉田幸夫　谷藤教志　大森卓　柏崎克人　川代雄一　安河内琢也　伊藤隆彦　石橋好幸　竹田和宏　小花信夫　福島良昌　粕谷昌弘　伊藤秀樹　田中幹二　伊藤昭一　佐々木敬博　川村尚樹　小山田勝行　澤口和司　松本敬　菅川益光　古屋敷俊雄　小泉聡　吉田哲人　中村次郎　芋田一　小松世英　秋地記　佐々木幹郎　難波保夫　小田義道　藤岡知昭　浦田栄治　伊保内利雄　今泉利一　上島秀一

佐々木紀臣　高城研司　工藤聖輔　吉田康浩　熊谷浩孝　三浦浩人　竹田法泉　坂下新治　松森壮全　川村國雄　藤井優幸　小泉聡　三上欽市　柴田克則　高橋正行　丹野保史　館澤徳寿　坂原秀人　久保田享　中村治　石村剛　佐々木紀臣　鈴木耕和彦　太田聖一　細村英太　久保憲昭　菅原卓也　金澤陽一郎　和山直　及川晋嗣　藤原誠　吉田弘司　菊地伸雄　櫻田真成　苫米地一　猿舘英明　貫洞厚　岡田啓　及川博之　清水渉　武田栄治　今村洋　中村元研　澤田

菊池和也　竹花純司　金澤博昌　深見泰輔　佐々木浩文　高橋義尚　田村英司　白澤孝幸　高嶋誠　加茂谷正俊　千葉邦敏　大原裕直　小山田大助　中山泰志　下河原宏記　盛田洋一　菅宏樹　作山秀治　藤村敬太郎　池野一信　中村信　青山祐司　石川修司　北畑博幸　大平慶次郎　佐藤昌三　斉藤昌也　藤本達　須藤隆　上野信之　坂橋和彦　黒沢重人　佐藤彰久　武田真和　中村正光　八重樹雄　福島尚司　杉江信　阿部修　吉田文明　谷藤幸夫　高田泰典　鎌田克巳　花井裕一　藤村耕三郎　藤尾一男　福田重雄　小笠原常之　浅久保徳光　山田康博　後藤尚夫　高橋隆夫　熊谷啓介　熊田博行　田辺和彦　工藤正身　吉田徹也　佐々木謙四郎　芋田一　中村一　滝浦弘士　吉田哲人　木村次郎　零石憲一　小松世英　菊池記　武藤顕一郎　佐々木幸男　秋浜一夫　佐々木幹郎　難波保夫　小田義道　藤岡知昭　浦田栄治　伊保内利雄　今泉利一　上島秀一

七〇周年記念事業
協賛広告提供者

この度の記念事業に協賛の広告を記念誌別冊広告特集としてまとめます。

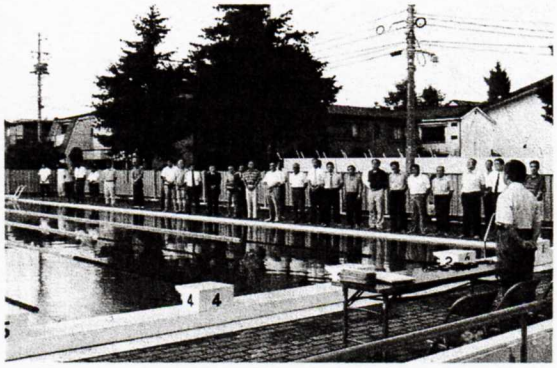
◆　◆

旧2回生　中野喜一（医療法人敬仁会中野病院）
旧9回生　赤坂俊夫（医療法人赤坂病院）
旧11回生　大平慶次郎（大平医院）
旧11回生　吉田印刷（株）
旧11回生　斉藤昌三（斎福商事㈱）
旧11回生　八重樫金十郎（岩手県北バス）
旧13回生　大沼憲雄（大英塗装工業㈱）
旧13回生　杉江忠之助（杉江医院）
旧16回生　大山哲男（石井内科）
旧17回生　池ノ口忠正（フォトモリオカ）
（医療法人育成会大小児科医院）
旧18回生　山口徳治郎（山口北州印刷㈱）
旧18回生　小原幸司（小原商店）
新1回生　荒尾勝（日成通商㈱）
新1回生　佐藤忠男（佐藤組）
新1回生　阿部淳也（岩手阿部製粉）
新2回生　藤根義慶（藤根建設㈱）
新2回生　鈴木雄壽（工喜建設㈱）
新2回生　小田島昭二
新3回生　三上美行（東北電話㈱）
新4回生　田中一誠法律事務所
新5回生　下河原善嗣郎（㈱下河原組）
新5回生　吉田勉（㈱吉田印刷）
新5回生　佐藤義正（ホテル大観）
新6回生　関久男（関胃腸クリニック）
新7回生　東野久松（東野建設工業㈱）
新7回生　日山浩一（桜顔酒造）
新10回生　石井隆（石井内科）
新11回生　斎藤正太郎（㈱斎寅商店）
新11回生　小原幸司（小原商店）
新12回生　佐々木嘉七（㈱佐々木組）
新12回生　佐藤忠男（㈱エヌアールエーハウジング）
新13回生　吉田公一（吉田建設㈱）
新13回生　小苅米淳一（㈱ジョイス）
新13回生　小原紀彰（小原クリニック）
新13回生　須賀靖朗（有須賀鈑金塗装）
新13回生　兼平重一郎（兼平重次郎商店）
新13回生　三浦敏彦（三建土木）
新15回生　肥田秀彦（肥田胃腸科内科医院）
新15回生　折祖克彦（㈱双葉金属）
新16回生　吉田万悦（岩手ハツリ）
新17回生　北井崎金蔵（㈱千田組）
新17回生　村上誠（タックデザインルーム）
新17回生　二上憲育（二上電機㈱）
新18回生　村井紀之（㈱村井松月堂）
新18回生　佐藤文治（㈱佐藤被服）
新18回生　肥田敏比古（菜園循環器内科医院）
新18回生　小山田舜次郎（岩手林産加工㈱）
新20回生　三田透（三田歯科医院）
新20回生　田中健一（田中歯科医院）
新20回生　小山田栄一（小山田歯科医院）
新22回生　佐藤秀利（岩手木材防腐㈱）
新22回生　檜山義彦（檜山歯科医院）
新22回生　太田政幸（ホテルメトロポリタン NEWWING）
新23回生　高橋清朗（高清建設㈱）
新24回生　笹川義夫（日本ウッドホーム㈱）
新24回生　井上成一（盛岡石油㈱）
新27回生　鎌田克巳（有カマタ硝子装飾）
新29回生　中村康彦（中亀建設㈱）
新31回生　金谷茂（㈱金谷）
新34回生　浅沼勝巳（㈱浅沼工業）
新37回生　富岡靖博（合富岡鉄工所）
石桜建設会30名
市会議員　小枝指博他5名

☆以上について万一お申込みと相違がある場合は岩手中・高校内石桜同窓会事務局宛至急（現在です。）連絡下さい。（前記はすべて8月31日）

伊藤信太郎　亀野正幸　田中崇一　向口学　板垣崇　榊原康二　小野寺真正　中野智久　阿部崇　一戸徹　斎藤源太　野中成　小野豪哲　工藤佳晋　大野宏仁

岩手中・高等学校水泳部 70周年記念式典と祝賀会を開催



岩手中・高水泳部OBの桜泳会は8月17日、部発足70周年記念式典及び石桜プール40周年記念式典を母校のプールサイドで挙行した。

午後1時30分から3時までの式典では栃内松四郎（旧10回生）桜泳会会長が挨拶。同日午後4時からホテルニューカリーナでの祝賀会では遠藤貫中（旧1回生）桜泳会名誉会長の挨拶のあと、来賓として池口杜孝学校長、赤坂俊夫同窓会長等がそれぞれ祝辞を述べ、顧問の菊池健先生から「生徒の近況報告」、主将から「現役選手代表挨拶」、佐藤正吉先生からは出席の旧職員草島充弘先生、現職員小畑勝行先生等の歴代顧問の先生の紹介があった。

校歌と水泳部歌の斉唱を締めくくりに盛大な会食の宴を閉じた。

岩手中・高等学校水泳部 70周年記念誌も発行

また特記すべきは同桜泳会の記念誌の発行である。A4判70頁、巻末に桜泳会メンバー300名余の名簿を収録、そのOBの層の厚さをしめしている。

水泳部は大正15年4月の第一回入学生による水泳同好会の活動に始まり、昭和3年の「石桜会」発足により、キャプテン、マネージャー制が設けられて部が誕生。第一回生により東北、北海道に〝岩中水泳部〟の名を知らしめて以来、戦中・戦後幾度かの黄金期を迎えての70年の星霜に感慨深い思い出の記が寄せられている。

冒頭の挨拶文は栃内松四郎桜泳会長、遠藤貫中名誉会長、岩根和夫（旧17回生）記念行事実行委員長の三氏。本文の〝思い出〟は大坪範雄（新13回生）伊藤昭一郎（旧17回生）藤原光邦（新15回生）村井健祐（新7回生）嶋屋智明（新40回生）村井孝（旧14回生）の諸兄が執筆している。

他に水泳部の歩み、大会別成績表、歴代部長名まで収めた労作である。

三名の先生、退職

本年三月で社会科の中村嘉明先生、数学科の村上照五郎先生（新2回生）理科の井藤博先生（新2回生）が退職されることになり、3月14日離任式が行われた。

いずれも20年以上の永いご勤務の先生で親子2代お世話になった卒業生も少なくない。

秋晴れのもと――第6回石桜ゴルフコンペ開催

8月25日（日）岩手ゴルフ倶楽部新山コースで6年目を迎える石桜ゴルフコンペが行われた。このコンペはもともと紫波石桜会の肝入りでスタートしたもの。従って同会会長藤尾公一君（新3回生）が呼びかけ人となって、年々拡大、今年は赤坂俊夫同窓会長の始球式を皮切りに参加者48名が競った。

クラブハウスでの表彰式には池口杜孝学校長もかけつけ、赤坂会長の挨拶に続いて池口校長も学校の現況も混えて挨拶。優勝者は藤尾公一君（新3回生）だった。

新山コースは福田要社長が新10回、横沢大造常務が新13回と岩高OBが経営陣にいるところから、参加者に親しみをもたれ、年中行事として定着の感があり、参加者も増えつつある。

明年は8月24日（日）開催予定で多数の参加申込が期待されている。（写真下）

新任の先生三氏

●養護　垣畑　由香先生

保健室では生徒の心身の健康管理も担当。

●数学科（講師）　大森英一先生

今年度は高2A・Bクラスの数学を担当。

●保健体育科　松田圭一先生

このほど教員免許を取得、事務室勤務から教師に転身。

竹花國夫君 藍綬褒章を受章

学校法人大釜学園理事長の竹花國夫（新8回生）君は教育振興功労として本年春の藍綬褒章の栄を受け、6月1日大釜幼稚園保育園多目的ホールの落成の記念と合わせてその祝賀会が同ホールで行われ、池口杜孝校長が出席した。

昭和37年以来財団法人東林会の大釜保育園の設立、昭和45年滝沢村で初めての学校法人大釜学園の大釜幼稚園を経営し、そのほかに更生保護や滝沢村体協等で地域に奉仕し、石桜振興会では同志に呼びかけて多額の寄付を重ねてこられた。

河村孝祐君 海上保安大学入学式で宣誓

新44回生で京都教育大学を卒業した河村孝祐君は本年四月海上保安大学へ入学。各課程計一七四人の新入生を代表して学校長に対し宣誓朗読した旨が学校へ伝えられた。

ソフトテニス部 テニス部 インターハイ出場

今年の夏中央通りを通ったOB諸兄は母校のテニスコートの「インターハイ出場」の字幕を見て〝ああ今年も頑張っているな〟と思われた人が多かったと思う。インターハイ出場までの経緯とその成果を簡単に紹介しよう。

今年の県高総体は母校から10の部が競技に参加。テニス部の団体優勝をはじめ、ソフトテニスの団体準優勝のほかラグビー部のAブロック昇格など成果を抱いて山梨の第48回全国高校総体へ臨んだ。

8月1日から24日まで、全30種目が「かけぬける、夏風をきれ、山梨で」のキャッチフレーズの下展開された。

〔テニス部〕

団体優勝、シングルス優勝と二つのインターハイの出場権を得ての山梨出場だったが、今年のクラブ目標「全国一勝」の壁は簡単ではなかった。ダブルスは4対5でシングルス共々惜敗した。

〔ソフトテニス部〕

出場権を得るまで、釜石商、一関第一、宮古工業に勝ち、準決勝でも高田高を破ったが、黒沢尻北高に惜敗、準優勝にとどまった。

団体戦、個人戦ともレベルの高い戦いを勝ち抜いてきた。しかし、インターハイでは三重高と対戦、1対4で負戦。

〔ラグビー部〕

この春高総体の初戦は盛岡三高に快勝、二回戦宮古工業を破り、Aブロックへの入れ替え戦に臨んだ。盛岡一高に対しては力と技勝り、二年ぶりにAブロックに返り咲いた。

盛岡市民体育大会 10の運動部が熱闘

4月19日から5月12日まで盛岡市民体育大会が開催され、母校からは次10の運動部が出場、それぞれ熱戦を繰りひろげた。

種目によっては高総体への地区予選をかねたものもあり、緊張が求められた春の公式戦だった。

出場は陸上部、柔道部、剣道部、卓球部、テニス部、ソフトテニス部、ラグビー部、サッカークラブ、バレーボール部、ハンドボール部だった。

O・B・短・信　平成8年

●**新40回F組クラス会**　1月3日盛岡市内のプラッツにて新年会をかねて20名が参加。卒業時担任青木先生出席。

●**紫桜会（新18回生同期会）**　4月20日盛岡市内大通りなにわにて村上照五郎先生退職慰労会を兼ねて21人が参集。

●**桜球会（野球部OB会）**　4月20日初駒にて定期総会。新会長に佐々川恵君（新11回生）を選出。約30名。

●**医大石桜同窓会**　5月11日ホテルニューカリーナにて藤岡知昭君（新19回生）教授就任祝賀会として54名の盛会。小野繁岩手医大学長、赤坂同窓会長、藤原仁左衛門同窓会副会長、池口校長出席。

●**新20回生同期会**　5月24日初駒にて、遠藤勝己君の永祥院正住職就任を祝う。山岸教頭出席。

●**新13回生同期会**　5月25日ホテル大観にて31名の盛会。村上照五郎先生退職慰労会を兼ねる。菊池軍次先生出席。

●**岩手町石桜同窓会**　6月15日同町喫茶ヴォーカルにて新入生、在校生激励会として生徒5名を交え、ボウリング大会その後懇親会。20名参加。菊地治雄先生出席。

●**桜球会**　6月22日初駒にて、前会長田中義男（新8回生）の慰労会及び新役員紹介。会長佐々川恵君（新11回生）副会長小野寺國祐君（新16回生）熊谷政名君（新19回生）事務局長中屋敷美喜男君（新23回生）。池口校長、米田先生（野球部長）井藤先生（講師）出席30名。

●**石桜歯科医師会**　6月29日大雅にて、30名の盛会。池口校長出席。

●**スピードスケート部OB会**　9月6日すず禅にて25名、村上照五郎先生（旧職員）出席。

肉のデパート
丸岩
盛岡市上田一丁目7の11　TEL(24)6565

大小御宴会・御商談等に御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通1丁目17-6
電話 22-9346

ヤマハピアノ・エレクトーン・ステレオ
伊藤楽器店
盛岡市中央通り1丁目11の12
TEL (24)3854